障害のある学生への支援(合理的配慮の提供)の流れ

基本的な流れは、以下のとおりとなります。

1.「障害のある学生」からの支援申出(相談)　【学生】

2. 支援の相談　【学生・健康相談室】

①健康相談室で支援相談内容を確認。
・学生(保証人を交えることもあります)と面談をします。
・障害(病状を含む)状況や希望している配慮を聞き取り、支援の内容を確認します。
・本学における「授業等における合理的配慮申請書」について説明を行います。
・添付資料の確認　・申請について承諾を得ている人の確認
②相談後、学生が「授業等における合理的配慮申請書」の提出を希望した際は、申請書を渡します。
・申請書の提出日の確認(いつ頃提出できるか)
③学生に「授業等における合理的配慮申請書」の提出について、Faculty Adviser(ファカルティ・アドバイザー以下 FA)に報告してあるか、確認をします。また、健康相談室より FA に報告することの承諾を得ます。

3.「合理的配慮申請書」の提出　【学生・健康相談室・(関係部局)】

①健康相談室へ申請書を提出。申請書の記入内容の確認。
・添付資料の確認　・申請について承諾を得ている人の確認
※保証人との連携が必要を思われる際は、保証人の承認の有無を確認します。
※支援内容により、必要に応じ、関係部局(学部長など所属学部の教員)と面談を行う場合あり。
②学生へ今後のスケジュール等(大学関係者で協議の上、支援可否を決定)を説明する。

4. 支援内容の協議　【大学】

大学において、学生より提出された「授業等における合理的配慮申請書」に基づき、合理的配慮の提供内容について協議します。

合理的配慮の提供(支援)内容の決定

(本人が希望する支援の提供が困難な場合には、他の支援方策などを対話により継続して検討いたします。)

5.「合理的配慮に関する合意書(案)」の作成 【健康相談室】

6.「合理的配慮に関する合意書(案)」の提示 【学生・健康相談室】

合理的配慮の提供(支援)内容【学生・健康相談室】

合意

健康相談室より学生に「合理的配慮に関する合意書(決定)」を渡します。

7. 支援(合理的配慮提供)の開始 【学生・履修授業担当者・健康相談室】

履修授業担当教員へ配慮依頼として「授業履修における配慮依頼(通知)」を配布します。

8. モニタリング 【学生・健康相談室】

支援開始後、健康相談室は定期的に学生との面談を行い、支援内容の見直しや修正を行う場合があります。

入学前相談の流れ

1. 相談(出願前・入学前)
入学希望者(保護者)

2. 面談(障害状況及び入学試験時の配慮希望内容の確認)
志望学部教員・入試広報部・健康相談室
※面談時には、授業形態などの説明も行う。

3. 入学試験時の配慮内容決定

合格・入学手続完了

4. 入学後の支援相談
原則、入学後「授業における合理的配慮の提供に関する流れ」の手順での対応となります。